

大木を

まちづくりの

平成31年度の

町の取り組みを紹介します

中逸町政のまちづくりがスタートしました。

3期目の折り返しとなることは、これまでに、しっかりと根を張り、花を咲かせてきたものがさらに発展し、「大木」となるように取り組んでいく重要な1年になります。

町民の皆さんが安全・安心に暮らし、魅力あふれるまちとなるよう取り組んでまいります。

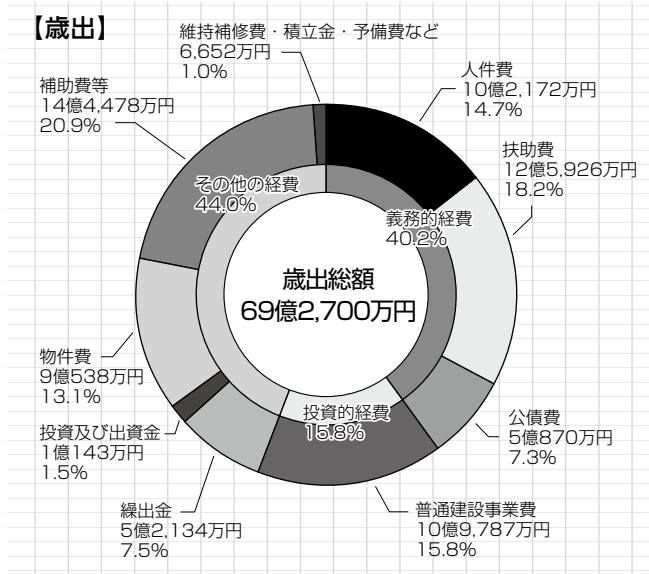
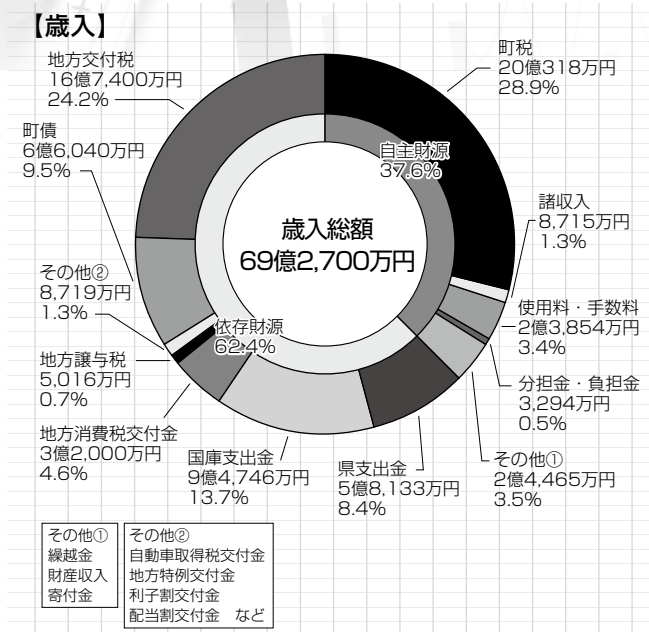
P 4 施政方針

P 5 予算

P 6 ～ 7 主要事業

予算総額 129億円

一般会計総額 69億2,700万円



【特別会計】			
会計名	予算額	前年度と増減率	
国民健康保険特別会計	21億5,500万円	△4.2%	
介護保険特別会計	17億5,200万円	+0.2%	
後期高齢者医療特別会計	2億490万円	+0.2%	
水道事業会計	収益的支出 (3条)	2億4,340万円	+0.9%
	資本的支出 (4条)	8,078万円	+12.7%
下水道事業会計	収益的支出 (3条)	8億5,336万円	△3.5%
	資本的支出 (4条)	6億4,566万円	△33.9%

特別会計とは、特定の収入をもって特定の支出にあてるような事業について、その収支を明確にするため一般会計と区別して設けられるものをいいます。この会計の設置は法律に基づくもののほか、すべての条例に基づかなければなりません。

平成31年度は、『国民健康保険特別会計』『介護保険特別会計』『後期高齢者医療特別会計』『水道事業会計』『下水道事業会計』の5つの特別会計が設置されます。

歳入には、自主財源と依存財源があります。

町税など、町が自主的に収入することができる財源（自主財源）は26億646万円で、全体の37.6%（前年度当初予算と比べ5.1%増）です。そのほとんどが町民の皆さんの納める町税です。

国や県から、定められた額の交付を受けて割り当てられた収入（依存財源）が43億2,054万円で、全体の62.4%（前年度当初予算と比べ10.2%減）を占めています。

主なものは、地方交付税、国・県支出金です。

歳出を性質別に見ますと、

人件費、扶助費（児童・老人・障がいなどの福祉に使われる経費）、公債費（借金の返済）などに義務付けられている経費（義務的経費）は、27億8,968万円で全体の40.2%（前年度当初予算に比べ4.6%増）を占めています。扶助費については、近年大きく増加しており町の財政を圧迫する要因となっています。

道路や施設建設に使われる経費（投資的経費）は、10億9,787万円で全体の15.8%（前年度当初予算に比べ32.7%減）となります。大幅な減少要因は、地域優良賃貸住宅整備費の減少によるものです。

その他の経費は、30億3,945万円で全体の44%（前年度当初予算に比べ1.6%増）を占めます。物件費（賃金・備品購入費など）、補助金等（各種団体への補助金など）、繰出金（特別会計への支出）などがあります。

平成31年度

当初予算

町の平成31年度の当初予算が3月議会で可決されました。特別会計を含めた全会計の予算規模は、総額で128億6,210万円となり、平成30年度当初予算に比べて8億502万円の減額となっています。

また、一般会計の予算規模は、総額69億2,700万円で平成30年度当初予算に比べて3億6,300万円の減額となっています。

平成31年度の一般会計当初予算は、地域優良賃貸住宅整備事業費を中心とした普通建設事業費の減少により、前年度から減少しています。

平成31年度

施政方針

（一部抜粋）

しせいほうしん
施政方針とは…政治を行うときの方向。政治の目的・方法・理念

【様々な災害への防災体制の強化】

1月3日に和wat町を震源とした震度6弱を記録する地震が発生し、さらに、1月26日には再び和wat町を震源とした震度5弱を記録する地震が発生しました。荒尾・玉名地域においては大きな人的被害等もなく、一安心致しましたが、昨年、震度6弱を記録しました大阪府北部地震、そして震度7を記録しました北海道胆振東部地震と、全国で大きな地震が続いていることを考えますと、災害はいつ発生するか予測できないものであり、地震をはじめ、豪雨災害や大型台風など様々な災害に対応し、防災体制の強化を引き続き図ってまいります。まちづくりに目を向けますと、「定住・教育・福祉・産業」の各分野におきましては、しっかりと根を張った事業が展開できております。これもひとえに、議員の皆様並びに町民の皆様 の多大なるご理解とご協力によるものであり、深く感謝申し上げます。

平成31年度は、これらの事業を更に大きく発展させ、まちづくりの「大木」となりますよう各種事業に取り組んでまいります。

【消費税率改正による景気の影響は】

現在の経済情勢と致しましては、米中の貿易摩擦などにより中国経済が減速したものの、米国を中心に世界経済の回復が続いており、国内におきましてもアベノミクスの効果による株高や、有効求人倍率も引き続き高水準で推移するなど、日本経済は上昇基調を維持しておりますが、10月からの消費税率改正に伴う景気の影響などを考えると、決して楽観できる状況ではありません。

そのような中、今年は改元の年でもあり、新たな天皇の即位に向けた祝賀ムードになることが考えられるとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2025年には大阪万博と、新たな時代に突入することから、地方もこれらの波を注視していかななくてはなりません。

先般閣議決定がなされました平成31年度の国の一般会計予算案は、7年連続で過去最大を更新し、101兆4,571億円が計上され、当初予算として初めて100兆円を超えました。

今回の国家予算につきましては、

消費税率改正に向けた経済対策費のほか、幼児教育・保育の無償化、社会保障の拡充などを主因として増加しております。

長洲町におきましても社会保障費の増加などにより、厳しい財政運営が求められる中、国の施策に基づき、第5次長洲町総合振興計画を基本に、長洲町まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿って、このたび予算編成を行ったところであります。

【魅力あるまちづくりを目指す】

本町を取り巻く財政状況や社会情勢は依然厳しく、人口減少や高齢社会による社会保障費の増加、施設の老朽化など、多くの課題を抱えております。

これらの課題に対しまして、正面から向き合い、事業に取り組んでいくことで「住みたい・住んでよかった」と思えるような、希望と魅力にあふれるまちづくりをさらに前へと進めてまいります。

主要事業

本年度、町が取り組んでいく主な事業を紹介します

2 人と人が支え合う 希望のあるまち

認定こども園施設整備事業

新規

3億7,133万円（子育て支援課）

2020年4月からの町立六栄保育所民営化に係る新たな施設整備に対して補助を行います。

子ども医療費助成事業

6,327万円（子育て支援課）

病気の早期発見、早期治療により、子どもたちが健やかな成長を図ることができるように、中学校3年生までの医療費を助成します。

長洲町健康ポイント事業

231万円（福祉保健介護課）

健診の受診や、町のイベントなどへ参加することでポイントを付与し、健診受診率の向上や、健康づくりへの関心を高めていきます。



ながす健康ポイントカード(平成30年度分)

子育て世代総合支援センター事業

502万円（子育て支援課）

はぐくみ館で、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児などの悩みに対する相談支援などを行い、切れ目のない支援を行います。

3 地域の資源を活かす 活力のあるまち

県営ため池群整備事業

新規

764万円（農林水産課）

ため池の決壊防止や洪水調整機能の向上のために、ため池の改修、廃止、浚渫、付帯施設の整備などに必要な施設を整備を実施します。

第三腹赤地区圃場整備事業

新規

117万円（農林水産課）

第二腹赤地区圃場整備事業に続き実施することで、生産基盤の更なる強化を目指します。

県営平原排水機場更新事業

新規

845万円（農林水産課）

昭和59年度に整備された平原排水機場の老朽化に伴い、排水施設の更新を行うことで、農業経営の安定化や湛水被害の未然防止などを図ります。

1 未来を拓く人づくりを目指す 夢のあるまち

夢の教室事業

155万円（学校教育課）

元プロサッカー選手などを招き、小学校5年生、中学校2年生を対象に夢をもつ大切さを伝えます。

小学校放課後教室
「フレンズ」推進事業

2,542万円（学校教育課）

放課後における児童の安心安全な居場所を確保するため、放課後子供教室、放課後児童クラブ、寺子屋学習塾、ながすふさと塾を一体的に実施します。



英語教育推進事業

855万円（学校教育課）

小学校1年生から4年生までの英語教育を充実させることで、幼児期から英語教育を通して一貫した教育に取り組みます。

幼児英語教育事業

600万円（子育て支援課）

町内の幼稚園・保育所に英語指導者を派遣し、遊びながら英語を学ぶことで、幼児期からのグローバルな人材育成を目指します。

学校給食センター整備事業

新規

763万円（学校教育課）

安心安全な学校給食を提供するため、荒尾市と学校給食センターの共同整備に向けて取り組みます。

学校運営協議会推進事業

新規

47万円（学校教育課）

地域などのニーズを学校運営に的確に反映させるため、保護者や地域代表などで構成する学校運営協議会を設置します。本年度は、長洲小学校と清里小学校に設置します。

学校ICT環境整備事業

新規

482万円（学校教育課）

2020年度からの新学習指導要領の改訂を見据えて、小中学校にICT機器の導入・整備を実施します。

幹線町道整備事業

2,353万円（建設課）

「赤田・上沖洲線」「上沖洲・鷺巣線」などの幹線町道の整備、維持管理を行います。

公園・街路等維持管理事業

2,711万円（建設課）

公園・広場などを町民や子どもたちが安心して利用できるように、適正な維持管理を行います。

地域公共交通活性化再生事業

1,754万円（まちづくり課）

町民の皆さんの移動手段のひとつであるきんぎょタクシーを継続して運行し、安全で気軽に利用できる体制を作ります。

養魚振興事業

87万円（農林水産課）

新品種「ながす羽衣琉金」をはじめ、長洲金魚の安定生産、ブランド化を図るため、引き続き、金魚養殖業調査研究事業に取り組みます。

観光振興事業

517万円（まちづくり課）

県内外の関係市町村と連携して、町の特産品や観光資源のPRを図ります。

水産業振興事業

1,216万円（農林水産課）

あさり人工種苗放流事業や干潟保全事業によるあさり資源の環境保全、海苔の生産・品質の向上や後継者育成・新規就業支援に取り組みます。

宮野地区地域優良賃貸住宅整備事業

2億5,595万円

（まちづくり課）

子育て世代をはじめ、幅広い世代の定住促進を図るため、宮野地区地域優良賃貸住宅を整備します。

レインボーみやの



分別収集・リサイクル推進事業

76万円（住宅環境課）

家庭ごみの減量化を図るために、生ごみ処理機購入に対する補助を実施します。また、資源ごみを一時保管する施設の設置費用の一部を行政区に対し補助します。

6

みんなとともに未来へ つなぐ協働のあるまち

長洲町男女共同参画推進事業

46万円（総務課）

男女がともに活躍できる環境をつくるため、男女共同参画講演会の開催や研修会への参加費の助成、優良企業への表彰などを行います。

公共施設バリアフリー事業

5,351万円（総務課）

防災拠点や避難所となっている公共施設のバリアフリー化を進め、高齢者や障がい者などにやさしいまちづくりを推進します。

本年度は、役場庁舎のエレベーター設置工事を実施します。

エレベーターが設置される
役場庁舎

新規



長洲町地域創生推進事業

459万円（まちづくり課）

各行政区の活動に対する支援を行うことで、地域住民が力を合わせ、地域課題の解決に向けて取り組むとともに、地域防災力の向上を図ります。

地域おこし協力隊事業

346万円（まちづくり課）

地域おこし協力隊員が、地域おこしの支援や町の情報などを発信するプロモーション活動を行います。

防犯カメラ設置事業

548万円（総務課）

行方不明者や徘徊者の早期発見、犯罪の防止などのために防犯カメラを増設し、皆さんの安全確保を図ります。



防犯灯整備事業

311万円（総務課）

行政区が管理する防犯灯の新規整備や蛍光灯からLEDへの取り換えに対する費用の一部支援を行います。

5

快適な暮らしができる 安心のあるまち

水道事業アセットマネジメント策定業務委託事業

482万円（水道課）

水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を実現するために、水道施設の特性を踏まえつつ、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設の管理運営を行います。

新規

住宅リフォーム事業

100万円（まちづくり課）

町民の住環境の向上を図るために、町内業者が実施した住宅リフォーム工事に対し補助金を交付します。

空家対策事業

1,260万円（まちづくり課）

空家の適正管理に対する取り組みとして、空家解体や空家バンク登録物件への補助を行います。